

家庭で備える



備蓄品

● 備蓄品の準備 ～食料・飲料水は少なくとも3日分、できれば1週間分程度の備蓄を～ ●

災害発生後は、すぐに物資が調達できないことが考えられます。家庭内で生活に必要なものや、**最低3日分(できれば1週間分)**の食料・飲料水を備蓄するようにしましょう!

家で
おくと
備えて

食料品：乾パン、缶詰、インスタント食品、チョコレート等。レトルト食品が便利です。消化の良いものを。

飲料水：1人1日3リットル、最低3日分は必要です。

トイレパック、燃料等：トイレパック、ランタン、乾電池、マッチ、携帯コンロ、ガスボンベ等。

● 非常持ち出し袋を用意

必要量をリュック等に入れて、非常時にはすぐに持ち出せるようにしておきましょう。



☐ 水(ペットボトル)

☐ ティッシュペーパー・ウエットティッシュ

☐ マッチ・ライター

その他にも

☐ 食料

☐ マスク

☐ 軍手

☐ 予備のメガネ

☐ 皿・コップ(紙・プラスチック)

☐ 医薬品

☐ ロープ・ガムテープ

☐ 生理用品

☐ 帽子・ヘルメット

☐ 常備薬・おくすり手帳

☐ ビニール袋

☐ 厚底の運動靴

☐ 上着・下着類

☐ 体温計

☐ 筆記用具・メモ帳

☐ 入れ歯

☐ 雨具

☐ 消毒液

☐ 健康保険証の写し

☐ ホイッスル

☐ トイレパック

☐ 携帯ラジオ

☐ 本人確認できるもの

☐ 紙おむつ

☐ トイレットペーパー

☐ 懐中電灯・ランタン(予備電池も)

☐ 現金(硬貨も)

☐ 食品用ラップ

☐ 洗面用具・タオル

☐ 携帯電話充電器(モバイルバッテリー)

☐ 通帳のコピー

☐ 粉ミルク

☐ 歯磨用品

☐ ほ乳びん など



災害用伝言ダイヤル171

● 家族の安否確認

地震等の災害発生時、家族の安否などの情報はいち早く入手したいものです。被災地への通話がつながりにくい状況になった場合には、遠方の親戚の連絡先を家族で共有しておき、災害発生時に全員でその親戚に連絡する方法のほか、以下のサービスなどもあります。

◎家族の安否を確認する～災害用伝言ダイヤル～

災害時に被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始される**声の伝言板**です。

171を入力

録音

1を入力

被災地の方の電話番号を入力

1を入力

録音

9を入力

※30秒以内

再生

2を入力

上記と同じ電話番号を入力

1を入力

再生



※平成24年8月から、スマートフォンへの対応や伝言登録機能を追加した「災害用伝言板(web171)」の提供も行っています。



暮らしている地域の災害リスク

各種ハザードマップなどで自分の暮らしている地域の災害リスクを確認しましょう

※ハザードマップは、土砂災害や浸水の恐れの高い区域を着色した地図です。
着色されていない場所でも災害が起こる可能性があります。

▶わいわい防災マップ

防災に役立つ各種情報(想定震度、液状化危険度、土砂災害、津波、洪水・内水・高潮浸水想定区域など)



▶横浜市土砂災害 ハザードマップ(中区)

豪雨によりけが崩れが発生した場合に、被害を受ける恐れがある区域。



▶即時避難指示対象区域

「土砂災害警戒情報」の発表とともに「避難指示」が発令される区域。中区は**5区域**が対象。

※該当区域に住んでいる人には個別に区役所から連絡をしています。



▶横浜市水防災情報

市内外の河川の水位やカメラ画像をリアルタイムで公開。



▶浸水ハザードマップ (中区) 〈内水・洪水・高潮〉

内水
洪水
高潮

下水道や水路からの浸水が想定される区域。
河川などの氾濫による浸水が想定される区域。
高潮が起きた場合の高潮浸水想定区域及び水深を表示した高潮浸水想定区域。



問い合わせ先

区役所本館6階61番
防災担当(TEL 224-8112)

各種ハザードマップは、ホームページで確認！
区役所でも配布しています。

※ハザードマップに記載されている避難場所などは、
災害規模や状況に応じて開設されます。